

2019年12月16日

日本共産党東京都議会議員団
幹事長 大山とも子 様

東京都病院経営本部長 堤 雅史

12月11日の令和元年第四回都議会定例会一般質問に対する私の答弁に関して、ご説明させていただきます。

私は、12月10日の代表質問において、都立・公社病院の地方独立行政法人化に関連して、2会派から5つのご質問をいただき、答弁をいたしました。また、貴党から私に対しての再質問が一問ございました。

その再質問に対して、「私が、知事のご発言された内容を知りましたのは、先週の本会議の場でお聞きをしたところです」と答弁いたしました。

この答弁は、知事の所信表明の最終的な内容を知った日という旨で答弁したものであり、その趣旨は、私自ら本会議終了後、貴党に説明に伺っております。

その次の日、12月11日の第四回都議会定例会一般質問において、清水やすこ議員から、都立病院の地方独立行政法人化について、「昨日の代表質問において、あたかも今回の方針が突然決まったかのような答弁があったが、改めてこれまでの検討経緯について、病院経営本部長に伺う」とのご質問がありました。

これに対し、私は、都は地方独立行政法人への移行の準備を開始するにあたり、これまで丁寧・十分に検討を重ねてきました検討経緯についてご答弁申し上げます。

そのうえで、質問者に、あたかも今回の方針が突然決まったかのような誤解を生じさせたことについて、「昨日の代表質問での私の答弁で誤解が生じたことはお詫びを申し上げます」と答弁したものでございます。